

プログラム

13:25－13:30 開会の辞

代表世話人：吉川敏一

【一般講演1】

座 長：高橋 徹、盛田俊介

13:30－13:45

1. 一酸化窒素、酸化ストレスの生体マーカーの現況と今後の展望

○塚原宏一¹、徳力周子¹、川谷正男¹、畑 郁江¹、眞弓光文¹、眞山義民²、長坂博範²
(¹福井大学病院小児科、²千葉県こども病院小児科)

13:45－14:00

2. 凍結保存全血と凍結保存赤血球ペレットを用いたCO測定の有用性

○深井原、若山顕治、福森大介、山下健一郎、古川博之、尾崎倫孝、藤堂省
(北海道大学第一外科)

14:00－14:15

3. ¹³COをtracerとした内因性COの体内動態に関する基礎的検討

澤野 誠
(埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター)

14:15－14:30

4. 一酸化炭素(CO)による大腸myofibroblastの上皮細胞迅速細胞再構築(restitution)に及ぼす影響についての検討

○内山和彦、内藤裕二、高木智久、半田 修、水島かつら、八木信明、吉川敏一
(京都府立医科大学 消化器内科)

14:30－14:45

5. 蛋白質S-グアニル化を介する酸化ストレス適応応答の分子機序

○藤井重元¹、澤 智裕¹、岡本竜哉¹、居原 秀²、井田智章²、Kit I. Tong³、本橋ほづみ³、山本雅之³、赤池孝章¹
(¹熊本大学大学院医学薬学研究部微生物学分野、²大阪府立大学大学院理学系研究科生物科学専攻、³東北大学大学院医学系研究科医化学分野)

14:45－15:00 休 憩

【一般講演2】

座 長：赤池孝章、澤野 誠

15:00－15:15

6. HO-1欠損と無脾症；第二例目のHO-1欠損症とその病態

○谷内江昭宏¹、和田泰三¹、清水正樹¹、横山忠史¹、東馬智子¹、Nita Radhakrishnan²、Anupam Sachdeva²
(¹金沢大学医薬保健研究域医学系小児科、²Pediatric Hemato－Oncology Unit, Sir GangaRam Hospital)

15:15－15:30

7. HO-1によるSTAT1シグナルを介したTh1型腸炎の抑制

○中道郁夫、松本主之、飯田三雄
(九州大学大学院・病態機能内科学)

15:30－15:45

8. Bach1は酸化ストレスの指標になりうるか？

○清水裕子¹、高橋徹¹、大森恵美子¹、森松博史¹、赤木玲子²、森田潔¹
(¹岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 麻酔・蘇生学分野、²安田女子大学薬学部薬学科)

15:45－16:00

9. マウスインドメタシン小腸粘膜傷害モデルにおけるBach1の役割に関する検討

○春里暁人¹、内藤裕二¹、高木智久¹、山田真也¹、平田育大¹、尾松達司¹、井上健¹、堀江隆介¹、内山和彦¹、半田修¹、吉川敏一¹、武藤哲彦²、五十嵐和彦²
(¹京都府立医科大学 消化器内科学、²東北大学大学院医学系研究科 生物化学分野)

16:00－16:15

10. 急性骨髄性白血病細胞においてBach1はheme oxygenase-1発現を制御する

○宮崎拓也、桐野洋平、岳野光洋、寒川 整、浜 真麻、田中正嗣、上田敦久、富田直人、藤田浩之、石ヶ坪良明
(横浜市立大学大学院医学研究科 病態免疫制御内科学)

一 会 告

16:15－16:30

Biogas Research Summit 2010に向けて

植田秀雄 (健康開発工房ミトレーベン研究所)

16:30－16:45 休 憩

【特別講演】

座 長：内藤裕二

16:45－17:45

Nrf2-HO-1経路の制御機構と生理機能

伊東 健 (弘前大学大学院医学研究科分子生体防御学講座)

17:45－17:50

閉会の辞

代表世話人：吉川敏一

18:00－19:30

懇 親 会 (青蓮会館 1階)